

# ProMED-mail 情報 2016年 4月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	マラリア インド	インド当局発表による2013年のマラリア罹患数は110万人だが、WHOは1千万人から2千6百万人と推定。毎年5万人近く死亡と報道発表。熱帯熱マラリアの場合、3日以内に適切に治療されなければ危険。
28日	鳥インフルエンザ(H5N6) 中国	4月11日、湖南省株洲市で家禽と接触歴のある11才女児が発熱し、入院。2014年以来、鳥インフルエンザ(H5N6)のヒト感染は計12例。
24日	ハンタウイルス 中国	ネズミが自然宿主となる5種類のハンタウイルスがアジアで確認。ハンタウイルスとソウルウイルスが中国で腎症候性出血熱HFRSの原因。1990-1997の間に40万人近くHFRSを発症し、致死率1.6%。
18日	重症熱性血小板減少症候群 韓国	SFTSウイルスは2009年に中国で同定されてから韓国、日本でも同定。韓国では2013年36名、2014年55名、2015年79名の患者発生。チェジュで61才男性が今年3月27日ダニに咬まれ4月12日に診断。
16日	黄熱 コンゴ民主共和国	2015年12月からアンゴラで流行している黄熱がコンゴに輸入。アンゴラで感染した21名のコンゴ人が治療のため帰国。コンゴ国内発症例は無く、アンゴラ国境での監視強化と蚊対策を発動。
15日	鳥インフルエンザ(H5N1) エジプト	最近エジプトで新患4名。70才女性は重篤な状態で感染源調査中。他の3名は女児で、すべて鳥と接触有り、回復。2003年以降、世界16カ国で、患者数は850名、死亡数は449名。
14日	狂犬病 USA	4月に2名の人がキツネに咬まれ、狂犬病の暴露後治療実施。キツネは検査で狂犬病陽性。今年度、サウスカロライナ州における狂犬病検査陽性は計25例。
12日	鳥インフルエンザ(H7N9) 中国	中国における鳥インフルエンザH7N9の3月月報による新患数は17名、7名死亡。FluTrackersリストによる全世界の患者数は2013年以降、計776名。
11日	鳥マラリア USA	メイン州、ニューハンプシャー州にまたがるUmbagog湖で昨年夏に死亡したアビの剖検から初めて鳥マラリアを確定。鳥マラリアは人の脅威とならないが、蚊媒介感染し野鳥の生態脅威となる。
10日	インフルエンザ イギリス	ワクチン株選択の失敗が昨年の死亡数急増の主原因。昨年は1968年以来最大となった5.6%増の死亡数増加。主な過剰死亡は75才以上の24000人がインフルエンザもしくは痴呆の病因。特にA(H3N2)変異型の流行により老人の死亡率が上昇。
6日	ハンタウイルス肺症候群 USA	全米でニューメキシコ州が最も発症が多く、1993年以来103名の確定例中、43名の死亡。ハンタウイルスの主保菌源はシロアシネズミ。今年度も2名の感染死亡報告。
4日	ラッサ熱 西アフリカ	1969年ナイジェリアのラッサ村の最初の確定例以来西アフリカ諸国で流行。感染者の80%は無症状だが、20%は重症化し多臓器不全を引き起こす。患者の25%に聴力障害を後遺し、致死率15%以上。
4日	黄熱 アンゴラ	アンゴラで過去30年間の最悪流行。疑い例1409名、確定例490名、死亡例198名。確定例の71%が発生したLuanda州で対象人口の88%にワクチン接種を実施したが、アンゴラ全土の流行地域にワクチンが足りているかは不明。
1日	ジフテリア ハイチ	2015年ジフテリアによりGonaivesで3名、Port-au-Princeで5名の小児が死亡。先月もPort-au-Princeで1名死亡。依然として致死率の高いジフテリアに対し健康当局は注意喚起。